

令和 8 年度 中山道広重美術館事業計画

中山道広重美術館は、開館 25 年目を迎えるとともに、当公益財団法人が恵那市から指定管理業務を受託して 12 年目を迎える。

令和 7 年度は、大河ドラマの放映による浮世絵に対する関心の高まりに加え、当地域へのインバウンドの訪問も好調で、令和 6 年度に続き、国内外から 2 万人を超える多くの来館者をお迎えすることができた。

令和 8 年度は、恵那市から新たに 5 年間の指定管理業務を受託した 1 年目となる。これまで取り組んできた活動の実績を一つ一つ大切にしながら、浮世絵専門美術館としての特徴を生かした主要事業を進める。

展示事業では、春季特別企画展「歌川広重 名所江戸百景 #浮世絵映えテクニック」、特別展観「開館 25 周年記念 渓斎英泉・歌川広重 木曾海道六拾九次之内」、秋季特別企画展「生誕 200 年記念 二代広重 広重イズムの在処（ありか）」を展示事業の主軸とし、歌川広重や二代広重の作品を中心に浮世絵の魅力を紹介する。また、通常の企画展では多角的な視点から展示テーマを設定し、浮世絵鑑賞における多様な楽しみ方を提示する。

教育普及事業では、連続講座は、例年通り全 6 回での開催を予定している。令和 8 年度は「浮世絵インパクト 江戸から現代へ」を共通テーマに、江戸から現代における浮世絵の受容・継承・発展の変遷を追う。また、「第 23 回広重賞 恵那市こども版画コンクール」を開催し、希望する園・学校へは、作品制作を補助するための講師を派遣する。年齢別の部門制により、上位賞への入賞機会を増やし、より一層こども達の版画への意欲につながるようなコンクールを目指す。さらに、恵那市による「日本美術技術博物館マンガとの青少年交流事業」と連携することで、こども版画コンクールを通じた文化交流の機会を提供する。

以上、引き続き、社会情勢によるエネルギー料金と人件費、諸物価の高騰による厳しい財政事情の中ではあるが、あらためて全国的に数少ない浮世絵専門美術館としての使命を果たすために、事業のさらなる充実を図り、来館者により大きな感動と満足感を持ち帰っていただけるよう努める。

1. 公益目的事業

展示

	区分	事業名・開催期間	事業概要
1	春季 特別企画展	歌川広重 名所江戸 百景 # 浮世絵映え テクニック 【前期】 4月2日(木)～ 5月10日(日) 【後期】 5月14日(木)～ 6月14日(日)	「名所江戸百景」は、タイトルに「百景」とあるものの、好評を博し 118 点まで制作が続いた大ヒット商品。広重の没後も梅素亭玄魚によって目録 1 点、弟子の二代広重(重宣)によって追加作品 1 点が制作され、合計 120 点となった。取り上げられた名所そのものの魅力もさることながら、現代でも人気の高いインパクトのある構図には、「写真映え」「SNS映え」ならぬ「浮世絵映え」のテクニックが駆使されている。 本展では、当館所蔵の「名所江戸百景」を 9 年ぶりに全点公開し、現代のスマートフォンのような縦長の画面における広重の創意工夫に迫る。
2	企画展	浮世絵山海名所尽くし 【前期】 6月18日(木)～ 7月20日(月・祝) 【後期】 7月24日(金)～ 8月23日(日)	東海道や江戸名所など、数々の名所風景画を生み出してきた歌川広重。江戸市中や街道筋のにぎわいはもちろん、臨場感のある構図と美しい彩色によって眼前に立ち上がる全国津々浦々の名勝に、人々は心躍らせたことだろう。 本展では、山と海をテーマに、当時の旅人たちが目にしたであろう街道風景や霊峰富士の雄大な姿、あるいは海の恵みを描いた作品などを紹介する。
3	特別展観	開館 25 周年記念 溪斎英泉・歌川広重 木曾海道六拾九次之内 8月27日(木)～ 9月27日(日)	当館を代表する浮世絵コレクション「木曾海道六拾九次之内」をそろいで出陳する年に一度の展覧会。本シリーズは、宿場順に制作されておらず、溪斎英泉が 24 図を手掛けた後、作画を引き継いだ歌川広重が 47 図を描き上げて完成した。 開館 25 周年を記念する本展では例年と大きく趣向を変え、本シリーズを作画時期ごとに展示し、英泉による起筆から広重による

			<p>完結まで、江戸時代の人々が享受した当時の出版状況を体感いただく。併せて「ふるさとえな応援寄付金」により令和7年度に新規収蔵した浮世絵作品7点を初公開する。</p>
4	<p>秋季 特別企画展</p>	<p>生誕200年記念 二代広重 広重イズム の在処(ありか)</p> <p>【前期】 10月1日(木)～ 11月3日(火・祝)</p> <p>【後期】 11月7日(土)～ 12月6日(日)</p>	<p>浮世絵風景画の第一人者初代歌川広重の没後に「広重」の号を継承した門人の歌川重宣(二代広重)は、師の署名書体や画風を忠実に受け継いだ一方で、幕末明治にかけての激動の世相を反映し、師とは異なる画題や表現にも挑んだ。</p> <p>本展では、襲名後初の大規模シリーズ「諸国名所百景」を中心に、初代広重による「六十余州名所図会」との比較を通して、師の模倣には留まらない二代広重の独自性に注目する。さらに、「明治の広重」と称された小林清親の作品や「昭和の広重」と称された川瀬巴水の新版画も紹介し、「広重」と呼ばれた絵師たちの作品における「広重イズム」の正体を探る。</p>
5	<p>企画展</p>	<p>超定番！浮世絵東海道 おすすめスポット</p> <p>【前期】 12月10日(木)～ 1月17日(日)</p> <p>【後期】 1月21日(木)～ 2月23日(火・祝)</p>	<p>江戸と京都の二大都市を結ぶ主要な街道として、さまざまな人が行き交った東海道。海岸線に沿って続く道中では、風光明媚な景色や、その土地でしか味わえない名物を楽しむことができ、多くの旅人を魅了した。</p> <p>本展では、歌川広重が東海道の見どころを余すところなく描いた通称「行書東海道」を中心に、現代にも通ずる旅人必見のおすすめスポットを巡る。</p>
6	<p>企画展</p>	<p>浮世絵花らんまん</p> <p>2月27日(土)～ 3月28日(日)</p>	<p>花見が庶民の娯楽として定着したのは18世紀前半のこと。江戸市中や郊外にはいくつもの花見の名所が誕生し、人々は春の風情を味わった。「鑑賞用の花」への関心も高まり、キク、ポタン、ハナショウブ、アサガオなどが盛んに栽培・品種改良された。約260年にわたる天下泰平が続いた江戸時代、花を愛でる文化は大きな発展を遂げた。</p>

			本展では、来たる春にふさわしい華やかな作品を展示すると共に、江戸っ子たちに親しまれた草花を紹介し、花らんまんな浮世絵を堪能いただく。
--	--	--	--

教育普及・調査研究等

	区分	事業名と内容	
1	連続講座	<p>浮世絵インパクト 江戸から明治へ</p> <p>江戸時代に誕生した浮世絵版画は、明治末期に衰退した一方で、海を渡りジャポニスムの火付け役となった。また、高度な木版技術は大正・昭和の新版画へと発展し、現代にも継承されている。本連続講座では、「広重」の系譜に注目しながら、江戸から現代における浮世絵の受容・継承・発展の変遷をたどる。</p>	<p>① 4月18日(土) 歌川豊広から初代広重へ 花鳥画と風景画を中心に 赤木 美智(太田記念美術館上席学芸員)</p> <p>② 5月23日(土) 小林清親 明治の「広重」 村瀬 可奈(東京国立博物館研究員)</p> <p>③ 6月27日(土) 「広重」を継ぐもの 二代・三代広重 神谷 蘭(京都芸術大学通信教育部非常勤講師)</p> <p>④ 9月12日(土) 川瀬巴水が描いた旅 広重との風景くらべ 小山 周子(東京都江戸東京博物館学芸員)</p> <p>⑤ 10月17日(土) ジャポニスム 世界を魅了した北斎と広重 田辺 昌子(元千葉市美術館副館長・国際浮世絵学会常任理事)</p> <p>⑥ 11月21日(土) 印刷のルーツ木版画、明治創業の版元の仕事 山田 博隆(美術出版株式会社芸艸堂代表取締役社長)</p>
2	版画公募展	第23回広重賞 恵那市こども版画コンクール	<p>市内の子どもたちが、自分たちの生まれ育ったふるさとの景色や身近な人々との関わりを見つめ、発見したことや感じたことを版画作品にする。その工程の中で、作品を創り出す楽しさを周りの人と共感しあうことを目的に開催する。</p> <p>12月～1月 作品募集、審査 2月～3月 入賞・入選作品展示、表彰式</p>

		応援講師事業	希望する園・学校の教員の版画制作指導をサポートするための応援講師の派遣を行う。
3	市商店街振興組合連携事業	ミュージアムナイト (午後8時まで無料開館)	8月中旬に市商店街振興組合が主催する「恵那納涼夏まつりと盆踊りの夕べ」と連携し、入場無料と夜間開館を実施する。
4	研修受け入れ	学芸員実習 インターンシップ 職場体験	大学を通じて希望する学生を対象とした学芸員実習、高校生のインターンシップ、中学生の職場体験を受け入れる。
5	国内外の美術館、博物館との交流	日本美術技術博物館 マンガとの事業協力	こども版画コンクールを通じて市内中学生のマンガ館への派遣交流事業をサポートするほか、館同士の友好協力事業内容を検討する。
6	調査研究		新規収蔵候補作品、特別企画展展示候補作品の調査、研究及び資料収集、今後の展覧会の企画構想に関する調査、研究。

2. 収益事業

(1) ミュージアムショップの運営

- ・ 展覧会関係グッズ、図録の販売
- ・ 当館オリジナルグッズ、美術関連商品の企画・販売
- ・ ネットショップの運営拡大

3. 管理事業

(1) 法人の運営

(2) 理事会、評議員会の運営

(3) 美術館施設・設備及び収蔵美術品の適正な管理